

令和4年度第2回鈴鹿市入札監視委員会 会議録概要

日時 令和5年2月13日(月)
午後2時55分～午後4時35分
場所 鈴鹿市役所10階 入札室

出席者

- 鈴鹿市入札監視委員 5名
酒井会長，長屋委員，中森委員，古市委員，山田委員
- 入札監視委員会事務局 9名
総務部長，総務部次長，契約検査課（課長，契約GL，グループ員）
上下水道局次長，経営企画課（課長，総務GL，グループ員）

【開会】

- 契約検査課長挨拶
- 総務部長挨拶
- 会長挨拶

【議事】（発言者：□委員，○事務局）

1 令和4年度制度改正について（最低制限価格・低入札調査価格の設定に係る改正）

資料に基づき事務局から説明

【質疑】

- 6月1日付けで設定範囲を改正し今回11月1日付で算出式を改正しているが，2度に分けて改正した理由は何か？
- 設定範囲については，国や県では従前に改正していたが，国は上限を92%としたのに対し三重県では上限なしとした。双方で基準が異なるため，市としてどちらの基準に準拠すべきか議論に時間を要した。6月1日付け改正の時点で国では既に算出式を改正していたが，入札参加者にとって有利となる改正内容であることから，算出式の改正に係る手続きを待たず先に設定範囲のみ改正を行った。
- 2度の改正に伴い電子入札システムの改修などの対応は生じなかったか？
- 電子入札システムへは案件毎に直接入力するため，運用の変更のみでシステムの改修は要していない。

2 令和4年度上半期入札結果について

資料に基づき事務局から説明

【質疑】

- 昨年度と比較するとB～Dの下位ランクの発注が増えているが何か要因があるのか？
- 上下水道局では昨年度から格付の見直しを行い，水道工事ではこれまでなかったBランク単独の発注基準を設けた。また，B・Cランクの工事については，このような比較的小規模な価格帯はハウスメーカーなどからの受託工事が多く，その申込数に応じて変動しやすいものとなる。

市長部局については、年度ごとに事業が異なるため偶然という面もあるが、予算面で大規模工事が難しい場合に部分的な改修を行う場合も考えられる。

3 抽出案件の審議

資料に基づき事務局から説明

【質疑】

・市長部局

安塚南部第1排水区雨水5号幹線整備工事（土木一式工事／一般競争入札・総合評価落札方式）

- 価格点の算出方法については具体的にはどのように計算するのか？
- 計算式としては価格点＝80点×（最低価格／入札価格）となる。例えば最低価格で入札した者は入札価格が最低価格と同額であるため比率は「1」となり掛けた80点そのまま価格点となる。次点の業者では分母の入札価格が大きくなるため比率が小さくなる。
- 低入札価格調査の中で、設計金額に対して一般管理費が約38.1%と低い、何か理由があるのか？
- 調査時のヒアリングでは、一般管理費は労災保険、建設業共済制度退職金共済制度、法定福利費及び契約保証などの必要な経費を計上しており、会社経費については他の工事で利益を確保しているため抑えられていると報告を受け、施工には支障ないと判断している。
- 低入札価格調査により落札決定まで約1か月かかっているが、工期に問題はなかったのか？
- 本工事は国土交通省の発注工事と関連するものということもあり繰越手続きを行っている。
- 低入札価格調査の最終的な判断はどのように決定するのか？
- 手続きとしては、調査期間中に審査を行う職員が落札候補者と接触しないよう、まずは担当課（河川雨水対策課）がヒアリングを行う。その後、当該工事と関わりのない職員から執行部会で任命された専門委員が担当課から報告を受け審議する。更に専門委員が執行部会に報告し、審議を受ける。最終的には鈴鹿市請負工事執行部会の合議のもと会長である内藤副市長により決定される。

鈴鹿市立鈴西小学校大規模改造（トイレ改修）工事（建築一式工事／一般競争入札）

- 入札者が1者と競争性が低くなっているが、要因や市としての防止策はあるか？
- 学校のトイレ改修工事は同時期に4件発注しているが、いずれも2、3者程度の参加であった。市内でこの規模の建築工事が可能な格付業者は10数者あるが、工事の担い手不足が深刻な中で職人の確保が難しく、特に本件のような学校の工事は授業・運営を行いながらとなるため条件的に厳しいことから敬遠される傾向がある。これは鈴鹿市に限らず県や他市なども同様と思われ社会的な課題であるが、発注者としてもより柔軟な発注方法を検討する必要があると認識している。
- トイレ改修工事が多いのはコロナウイルス感染症対策の一環か？
- 学校を含む公共施設は老朽化したものが多く、計画に基づき順序を決めて大規模改修を行うが、順序が後になる学校については並行してトイレのみ改修する計画であった。そこへコロナウイルス感染症対策で補助金が活用できることから、計画を前倒してトイレ改修を実施することとしたため、同時期に発注が重なった。

新消防分署・天名分団施設電気設備工事（電気工事／一般競争入札）

- 建築工事やその付帯工事は落札率が高い傾向にあると思うが、本工事は最低制限価格と同額であった。何か要因があるのか？
- 工事内容に特別な要因はないため、入札参加者の企業努力によると思われる。建築工事は多くの資材が必要となるため物価高騰もあり材料費の価格転嫁が大きいですが、電気工事などの付帯工事については建築工事と比較すると資材は限られるため、ある程度流通しているものは民間の市場価格に準じて価格が引き下げられる傾向にある。
- 電子入札システム導入直後の開札であるが、本件の入札参加者は全て電子入札で参加したのか？
- 多くの工事業者が早い段階から対応いただいております、本件の参加者は全て電子入札であった。

・上下水道局

南部汚水中継ポンプ場圧送管増設工事（土木一式工事／一般競争入札・総合評価落札方式）

- 1件目の案件は9月公告で、本件は10月公告であるが工事成績の評価対象となる期間が3か月異なっているのはなぜか？
- 鈴鹿市総合評価落札方式試行要領で公告時期に応じて評価対象とする期間を定めている。7～9月公告は直近の5月末から過去2年間、10月～12月公告は直近の8月末から過去2年間としている。

御菌地区浄化センター外計装機器取替工事（電気工事／一般競争入札）

- 入札者が1者であるが、施工可能な業者はどれくらいいるのか？
- 地域要件の県内本店で入札参加者名簿に電気工事の登録があるものは150者ほどある。しかし、現在県内で農業集落排水事業を行っている自治体がほとんどなく、そのなかで本件のような計測機器の工事实績を積むことが難しいため、施工実績の入札参加要件を満たす業者は限られる。また、メーカー製の機器であるため代理店など維持管理を熟知した系列の業者でないと施工が難しい。
- 維持管理をしているのも今回の落札業者か？
- 他自治体では維持管理業務の実績もある業者であるが、当市では維持管理は別業者に委託している。

江島台二丁目外配水管設計業務委託（土木関係コンサルタント／一般競争入札）

- 本件に限ったことではないが、公告文によると設計図書の販売を㈱三ツ星鈴鹿営業所が行っているが、入札参加者は全てそこで購入するのか？例えばそこで参加者がどれくらい見込まれるかが分かり、入札額に影響するという懸念はないか？
- 設計図書は公告文とともに鈴鹿市ホームページ上でも公開しており、販売は書面での入手を希望する場合に利用できるもので、参加者数を推定できるものではない。
なお、実際の購入者は年に数件程度であったため、本年度からは㈱三ツ星での販売は行わず電子データでの閲覧を基本として、書面の購入希望があれば市で対応することとしている。
- 低入札価格調査の調査項目に「経営及び信用状況」とあるが具体的にどのように確認しているのか？また、「資材購入先及び購入先と入札者との関係」は信頼関係を客観的に証明することは難しいが、業者の申告によるのか？

- 「経営及び信用状況」は決算書などの資料の提出を求め確認しているが、「資材購入先及び購入先と入札者との関係」は業者の自己申告もあるが、購入先の見積書の提出も求めるため不自然なものがあれば聞き取り調査を行うことになる。
- 過去に低入札価格調査で問題なしとしたものの施工困難となった例はあるのか？またその場合はどのように対応するのか？
- 倒産などにより履行困難となった例は過去に数件ある。対応としては工事を打ち切る場合もあれば、完成間近であれば別業者に依頼し完成させる場合もある。

4 その他

- ・本年度の定例開催は今回で最後となり、次回委員会の開催については例年どおりの開催であれば8月頃を予定している。なお、入札監視委員の任期は原則2か年としているため、来年度も引き続き依頼する。
- ・次回の審議案件抽出は山田委員に依頼する。

【閉会】

- 会長挨拶

以上